

同志社大 3年 室谷早紀さん

学生女流名人

同志社大の女流棋士姉妹といえば、室谷姉妹。アマチュア5段である姉とプロ初段である妹。今回、姉である室谷早紀さん(商・3年)に話を聞いた。

FOCUS

追いかける。大学生。

今年の3月16日、同志社大では毎年恒例である文化系公認団体の表彰式が行われた。ここで将棋研究会は、主にある部員の個人戦の戦績が評価され、学生支援センター所長優秀賞を受賞し、副賞として10万円が贈呈された。その部員とは、室谷早紀さん。一見すると、今風の普通の女の子だ。ストリートダンスが趣味で、ダンスの魅力を「結果を求めないこと」と語る。そんな彼女は「結果を求める」



将棋に取り組むとき、雰囲気が一変する。今年のクリスマス、早紀さんは全日本学生将棋女流名人戦に優勝した。これは同志社初となる快挙で、そのことについての感想を聞くと「とにかく自分の目標が達成できてほっとした」とさうり。自身が達成した快挙にあまり関心がない様子だった。それもそのはず、彼女が結果を残すのは当然といってよいのかもしれない。練習相手は早紀さん

「親友でありライバル」

姉妹で共に高みを目指す

の妹、室谷由紀さん(文・1年)だからだ。由紀さんは昨夏デビューしたプロの女流棋士だ。

「妹の存在は大きい」と語る早紀さんは、妹とは時にはライバル、時には親友として将棋人生を歩んできたという。早紀さんが将棋を始めたのは小学3年生の時。将棋教室についてきた由紀さんは当時小学1年生だった。二人は男性が多い将棋界の中でもに切磋琢磨し、高みを目指していた。そんな中、早紀さんは自身の精神の弱さからプロへの道を断念した。その後、由紀さんがプロになってから二人の関係性は変化したという。「それまではライバル意識があり、お互い手の内を見せなかった。今はお互いさらけ出して、純粹に将棋に対してアドバイスし合う仲間になっています」と語る。

今年も行われる全日本学生将棋女流名人戦。「絶対出る」と語る彼女の瞳は、妹との最強タッグ練習で培った自信でみなぎっていた。

(聞き手 西原由樹)

UNN 関西学生報道連盟

FOCUSは

神戸大学ニュースネット委員会
同志社大学 PRESS 編集部
NEWS 立命通信社
関西新月通信社
大阪大学 POST 編集部

関西大学タイムス編集部
神戸女学院大学 K.C.Press 編集部
京都女子大学藤花通信編集部
京都大学 EXPRESS 編集部

の共同編集による週刊フリーペーパーです